

## アジア統合セミナー I

栗田 匡相

### (1) 講義概要

本講義では、アジア統合をめぐる様々なイシューの中で、主にアジア経済統合に関わるトピックを題材に、毎回、指定の文献（3～4本のペーパー）を読み、受講者がそれを報告し、皆でディスカッションを行っていくセミナー方式で授業が行われる。講義の前半部分（第2～3回）では、議論の土台を醸成するために、アジア統合に関する基本的な文献を読み進めていく。次に第4～7回の講義では、アジア経済統合による直接的な影響や変化について議論を進める。具体的には、貿易や直接投資といった生産・流通ネットワークの構築と相互依存関係について、アジア域内のケーススタディのみならず、EUやラテンアメリカの経済統合との比較、また国際経済学による理論面からの考察なども行いつつ、議論を深めていく。第8～13回の講義では、アジア経済統合の深化によって派生的に生じるであろう二つの変化、影響に焦点を絞り、話を進める。一つ（第8～10回）は、アジア経済統合と環境問題の関係である。廃棄物の越境問題や、公害の輸出、エネルギー需要の増大、温暖化対策などの問題について、内外の文献を読み進めていく。今一つは貧困・所得分配の議論である（第11～13回）。アジアの経済統合が貧困層や一国の所得分配構造にどのような影響をもたらすのか、国際経済学、開発経済学、各国のケーススタディ等の文献を読み進めることによって、議論を深めていく。最後の2回分（第14・15回）では、受講者各自がアジア統合に関わる好きなトピックを選び、報告を行う。報告のトピック等については事前に、担当教官と打ち合わせを行うこと。なお、本講義は、希望者がいる場合にのみ英語で授業を行うが、必読文献の中に日本語による文献が複数あるため、日本語の読解能力があることが望ましい。また、意味のあるディベートやプレゼンテーションの時間を確保するために、参加人数を上限20人とする。人数が多い場合は抽選となるので、履修希望者は必ず初回の授業に出席すること。

### (2) シラバス

- 第1回（4/17）：イントロダクション
- 第2回（4/24）：アジア統合の基礎知識1
- 第3回（5/8）：アジア統合の基礎知識2
- 第4回（5/15）：アジア経済統合1
- 第5回（5/22）：アジア経済統合2

- 第6回 (5/29) : アジア経済統合 3
- 第7回 (6/5) : アジア経済統合 4
- 第8回 (6/12) : アジア経済統合と環境問題 1
- 第9回 (6/19) : アジア経済統合と環境問題 2
- 第10回 (6/26) : アジア経済統合と環境問題 3
- 第11回 (7/3) : アジア経済統合と貧困・不平等問題 1
- 第12回 (7/10) : アジア経済統合と貧困・不平等問題 2
- 第13回 (7/17) : アジア経済統合と貧困・不平等問題 3
- 第14回 (7/24) : プレゼンテーション 1
- 第15回 (7/31) : プレゼンテーション 2

### (3) 教科書

第2・3回の講義では、毛里和子編集代表、山本武彦・天兒慧編『東アジア共同体の構築 第1巻 新たな地域形成』岩波書店、2007年、を読み進めるので、各自用意しておくこと。

第4回以降は、それぞれのトピックで、3~4本のペーパーを読むことになる。それらペーパーは概ね授業のホームページにアップロードされるので、各自ダウンロードして、一読し、授業に望むこと。

### (4) 参考文献

毎回の授業で紹介する。

### (5) 評価方法

ディベート等における授業への貢献20%、報告40%、論文40%